

四天王寺紅生園

四天王寺紅生園は2023年、開設20周年を迎えるにあたり、現在のコロナ禍を契機として、今一度、原点に立ち戻り、サービス提供のあり方を考えていく1年にします。その中で以下を大切にします。

- (1) ひとりひとりがいきいきと生きられるよう、日々の生活を大切にします。
- (2) 家庭的な日常生活の場として自立できる環境を大切にします。
- (3) ボランティア活動などを通じて、地域社会との交流を大切にします。
- (4) ひとりひとりのご家庭との関係を大切にします。

～具体的な事業活動～

(1) 利用者サービス

- ・コロナ禍でもご家族とつながりを感じることが出来るよう、感染症対策に留意し、ひとりひとりに応じた面会・外出のあり方を模索し、実践します。
- ・ひとりひとりが望む生活を送れるよう、自立支援介護から看取り介護まで、多職種・ご家族・地域の関係機関と連携・協働し、実践します。

(2) 人財の定着

- ・多世代、多国籍、身体にハンディがある方も長く働きやすい職場となるよう業務のスマート化を図ります。
- ・簡略化を図りつつも根拠に基づいた支援を全部署で実践することで、利用者満足度を職員ひとりひとりが感じることが出来、役割や働き甲斐を持つことが出来る施設を目指します。
- ・ワークライフバランスの取り組みとして、年間休日数の見直し、有休休暇の取得向上を図ります。
- ・職員ひとりひとりの声に耳を傾け、自己啓発の推進・メンタルヘルスケアに取り組めます。

(3) 事業運営

- ・基幹設備の修繕や入れ替えを計画的に実施出来るよう中長期計画に基づき実行します。
- ・大規模災害や感染症流行に応じた業務継続計画を作成し、試行、改訂を重ねます。
- ・コロナ禍において、物価価格の上昇が見込まれます。業者とも丁寧な対応を心掛けながら、健全な経営が持続出来るよう業者や必要物品の見直しを図ります。

～改善活動～

- (1) ICTの導入としてiPadを活用し、多職種でのご利用者の情報共有や記録業務のスマート化を図ります。情報共有の強化・業務の見直しから転倒などのリスク管理・介護負担軽減に努めます。
- (2) 入所・短期入所サービスを基盤とし、地域の連携機関と連携・協同することで、社会貢献活動に参画します。(生活困窮者やコロナ禍で地域支援から遮断された方を救済出来るようサービス提供に努めます。)

以上